

# 都市防災事業計画

くまのちょう さいがい つよ ぼうさい あんぜん だい き  
熊野町における災害に強いまちづくり(防災・安全)第2期

ひろしまけん あきぐん くまのちょう  
広島県安芸郡熊野町

令和3年7月(当初)

## (様式1)整備方針等

### 整備方針等

#### 【防災まちづくりの現状及び課題】

熊野町は、広島県の南西部、安芸郡の東に位置し、中国地方の中心都市である広島市の南東側に位置しており、人口23,614人(令和3年5月31日現在)で、町域面積は約34km<sup>2</sup>である。そのうち約50%が山林で町の周囲は山林で囲まれている。また、市街地の面積は約10%である。

熊野町は平成30年7月豪雨において、熊野町川角地区を中心に、人的被害として死者12名、重傷者3名、住宅被害として全壊18棟、大規模半壊4棟など大きな被害が発生した。また、町内全域で土砂災害が40箇所以上、河川の決壊による浸水被害が多数発生し、インフラの復旧・復興が急務となっている。

現在、土砂災害警戒区域内の50戸以上の袋小路団地で小学校等から1km以内の箇所について、重点的に避難路整備を推進しているところであるが、町内には前述の条件に該当しないものの、幹線道路への避難ルートがひとつしかない・避難路が狭隘など、災害時の避難活動、消防活動などで支障となる箇所がある。これらの状況に対応するため、引き続き避難活動等の円滑化に資する避難路及び待避所の整備は急務である。

#### 【整備方針】

本町では、「第6次熊野町総合計画」、「熊野町都市計画マスタープラン」、「熊野町地域防災計画」、「熊野町国土強靱化地域計画」により、地域住民が避難場所等に迅速かつ安全に避難できるよう計画的に事業を推進することを定めている。

本計画では、土砂災害警戒区域の指定がある概ね30戸以上の袋小路の団地や住宅密集地の避難路の整備を行い、災害に強いまちへの復興を推進する。(平谷地区:平谷台団地避難路、出来庭地区:土筆丘団地避難路、出来庭八丁目避難路、城之堀地区:緑翠園団地避難路、呉地地区:皇帝ハイツ避難路、呉地四丁目避難路)

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	熊野町における災害に強いまちづくり (防災・安全) 第2期	交付対象	熊野町
計画の期間	令和4年度 ~ 令和8年度 (5年間)		

